



料金受取人払

3 9 9 0 2 9 0

茅野局承認
1567

差出有効期限
令和6年4月
30日まで
切手不要

長野県諏訪郡富士見町落合 10777

富士見町議会 行き



みなさんの **声** を聴かせてください

貴重なご意見ありがとうございます。
もしよろしければ該当欄にマル印をつけて投函してください。

10代・20代・30代・40代・50代・60代・70代・80代・90代以上
男性・女性

YOUR FUTURE あなたの未来

子どもたちにも大人気の「OKKOH富士見っ子首頭」など、踊りを通じて地域や世代の繋がりを紡いできた和田さんに、どんなキッカケがあって始められたのか？
お話を伺ってみました。



富士見町文化協会 会長
(富士見 OKKOH 踊り連部会長)
和田順子さん

いま、私が富士見町の未来を考える事は、富士見町だけにある文化を、いかに若者達、子供達に伝えていけるかという事です。特に今まで私がかかわってきたのは、町制20周年記念に作られた「富士見小唄」で、踊りを振り付けさせていただきました。盆踊りには各地区で踊られています。

もう一つは「富士見 OKKOH 祭」です。43年前、長野市に住んでいた時に「長野びんずる祭」を見て富士見にもこんなお祭りがあったらいいなと思ったのがきっかけです。たまたま、富士見太鼓さんが良い曲を作ってくれ、踊りを付けたらどうかとなり、お祭りにしようということになって出来たのです。今では、歌も付いた3曲目の「OKKOH 富士見っ子首頭」も出来、来年40回目を迎えます。この踊りと歌を守り、伝承して行って下さる方々を募集中です。よろしくお願いたします。お祭りで富士見を元気にしましょう。

全員協議会での 町関係協議事項

- 第1回 4月20日
1. コロナ対策対応経過等について (総務課・住民福祉課)
 2. 富士見町国土強靱化地域計画について (総務課)
 3. 損害賠償金の専決処分について (総務課)
 4. 事業進捗状況について (総務課)
 5. パノラマリゾート経営状況について (総務課)
 6. その他(報告等)

- 第2回 5月20日
1. 6月定例議会提出議案の概要について (町長)
 2. 令和3年度富士見町新型コロナウイルス感染症対応地域生活臨時交付金事業評価について (総務課)
 3. 令和3年度地域振興券・食事券の利用実績について (産業課)
 4. 令和4年度富士見町国民健康保険料率の改定について(住民福祉課)
 5. 新型コロナウイルス感染症対策関係経過報告 (総務課・住民福祉課)
 6. 損害賠償金の専決処分について (総務課)
 7. 事業進捗状況について (総務課)
 8. パノラマリゾート経営状況について (総務課)
 9. その他(報告等)
・マイナンバーカード電子証明書再発行に伴う手数料の削減について (総務課)
・職員採用試験について (総務課)
・クールビズについて (総務課)

- 第3回 6月14日
1. 追加議案について
 2. (一社)富士見パノラマリゾートの経営状況について (町長)
 3. 富士見メガソーラー(株)の経営状況について (町長)
 4. 産業課からの報告
・商業環境調査報告書について
・商業振興事業対策事業者について
 5. 第6次富士見町総合計画について (総務課)
 6. 損害賠償金の専決処分について (総務課)

★新型コロナウイルス感染拡大を受け書面決議議長公務日務日程は除く

議会活動

富士見町議会期開 令和4年4月～6月

4月	
7日	議会改革実行委員会 議会運営委員会
12日	議会広報編集委員会
20日	議会全員協議会
5月	
10日	議会改革実行委員会
12日	茅野市原村富士見町地区農作物 価格安定対策事業運営協議会
16日	議会広報編集委員会
20日	議会全員協議会
26日	議会運営委員会
6月	
2日	6月定例会 開会・上程・議案 説明/議会改革実行委員会
3日	6月定例会 質疑・委員会付託
6日	一般質問①
7日	一般質問②
8日	常任委員会
10日	議会勉強会
11日	入笠「花の里山」ボランティア
14日	議会全員協議会 議会運営委員会/確定議
21日	議会広報編集委員会
28日	諏訪広域連合 議会運営委員会

VOL 175

議会だより

令和4年8月1日発行

「議会広報編集委員会」
委員長…牛山基樹 副委員長…三井新成
委員…織田昭雄・島正孝

発行…富士見町議会 編集…議会広報編集委員会
お問い合わせ…富士見町議会事務局 ☎0266629403
〒3990292 長野県諏訪郡富士見町落合10777



議会だより

VOL 175
令和4年8月1日

議会を傍聴しませんか？

※会期中であれば傍聴席から傍聴可能 ※入退場自由。役場4階へお越しください



定例会(予定)
9/1 木
一般質問(予定)
9/5 月・6 火

もっとよく見えわかりやすく
町民に開かれた議会へ



富士見町議会だよりは議会ホームページでもご覧いただけます
<https://www.town.fujimi.lg.jp/site/gikai/>
第8・9回 富士見の日フォトコンテスト(佳作) 2/18の花火(山崎) 古黒沼



力 夕 子

新しい議会の

今、考えて欲しい事は、飲食店だけでなく個人商店もコロナで大打撃を受けており生き残りをかけて新規商品の導入や販路拡大と自動努力も進みつつ、街路灯の新設も補助を受けずには無理です。振興券の発行を望みます。



60代 男性

コロナ感染症では他の市町村に勝る手厚い対応に喝采。今後町政には①要支援、要介護者でない一人暮らしの方に現在より利用し易い新しい生活導入②県外からの子育て家族居住者への助成金並びに十分な生活支援が人口増加に繋がる要因③風土を生かした観光開発、以上この3点をぜひ実現させてください。



60代 女性

任期まで残り1年

町民は議員と議会に

何を望みますか？



子どもたちの未来に向けて子供たちのために予算を使ってもらいたい。特に子供たちが使用するスポーツ施設や体育館の増設や補修に目を向けて予算付けをしてもらうための、意向調査などをしてもらいたい。



30代 女性

コロナ渦における子供育成事業等の実施にあたり、大人の責任の取り方に開通し、事業を中止せざるを得ないケースが多分にある。子供の立場を理解し、尊重して主体性を持たせてあげるための、行政としての細かな情報伝達ができるようフォローと後押しができるよう生涯学習課や子ども課に要望してもらいたい。



40代 男性

信濃境駅前の県道は幅員が大変狭く、最近ダンプなど大型車両の通行が増加し、子供の通学通園やシニアカーの通行が危険に晒されている。理事者、議会が一体となって危険箇所の改善を県への働き掛けを強力にお願いしたい。



70代 男性

物価が上がる中で生活だけではなく、いろんなことにお金が必要になります。不安も増えてきます。議員には身近な相談窓口となつて、無駄のない支援へ子育て世代の声を挙げて欲しいです。



20代 女性

例えば人口減少・少子化は消防団員の若手不足など、町全体の力を削いでいます。議会では「概要」だけでなく「細部」の視点からも修正をして、未来に繋がるような具体的な提案をして欲しいです。



20代 男性

自転車と自動車共存でき、子供から大人まで安心して自転車を楽しむことができる町を目指して、自転車道の整備やロードバイク専用コースの新設等の要望を取りまとめ、一般質問として町の考えとすり合わせ、実現に向かい議論していただきたい。



30代 男性

議会よりも熱心に読んでいます。編集に工夫なさっているのは、読んでいてもよく分かります。でも「広報ふじみ」と重複するところがあり残念です。議会だよりの最大の使命は、動画発信していない議会の様子(特に一般質問)を目で見えるように伝える事だと思います。是非ご一考ください。



80代 女性

車の免許証を返納しようかどうか悩んでいる。車がなければこの町では暮らして行けない。独り暮らしの老人や障がい者の為の交通手段をもっと考えてほしいです。



90代 女性

図書館の学習スペース以外でもっと気軽に勉強を教え合い、悩みを相談し合える、中学生や高校生の子供が交流できるスペースを作ってもらいたい。特にゆめ広場交流施設を拡張した形の、40~50人が使える子供たちのための交流施設を開発する提言を議会として出していただきたい。



40代 女性

町民の代表として議員の皆様には、日頃のご活躍感謝申し上げます。年々難しい問題が多数取りざたされますが、町民の声をしっかり聞いて町政に反映させてください。また、毎回議会だより興味深く拝見しています。



70代 女性

議員個々の活動が見えないので過年の動きをもっとオープンに伝えて欲しい。町民が「言っても仕方ない」と思わないように、計画は立てるものから実行へ、成功モデルづくりへの視点が重要。議会議録のアップロードは早急をお願いします。



50代 男性

不登校・いじめ・授業の妨害など学内の問題を、学校と保護者で窮するだけでなく、学校運営の透明性・公平性が正せる機能をもって、行政と学校と住民が共に取り組める活動を町議会に期待したいです。



50代 女性

新しい議会の

カタチ

地方議員のなり手不足 学びを議員報酬・政務活動費の 活かす 充実に向けた論点と手続き

大正大学 社会共生学部教授 江藤 俊昭 氏 令和4年6月10日

昨今問題となっている「地方議員のなり手不足」について、その要因の一つとして議員報酬と定数が議論されています。富士見町議会は、過去の合併事業のいきさつもあり、その課題については今後も丁寧に話し合っていく必要があります。そこで、今回は先生に、論点として意識しなければならないこと、手順として踏まなければならないこと、議員の行動、及び議員の持つ重要な役割の再確認等、概論を講義いただきました。その中で、住民にとっては行政も大事だが、「地域経営を行う政治も重要」という説明がありました。条例を作る・予算を認定する、等地域経営にかかわるものは全て議会が決める、というものです。改めて、議会の重要性を認識し、その内容に見合う知識・人間力を身に付け、住民が幸せに暮らせるよう機能して行かなければならない、と再認識しました。

議員報酬の推移

区分	単位	報酬額	適用年月日	報酬額	適用年月日
議会	議長	月 288,000	H8.4.1	268,000	H4.4.1
	副議長	月 224,000	H8.4.1	207,000	H4.4.1
	委員長	月 213,000	H8.4.1	197,000	H4.4.1
	議員	月 201,000	H8.4.1	186,000	H4.4.1

富士見町の特別報酬は平成8年4月1日に適用され現在に至っています。

議員の視点

16人→11人 議員定数削減は、平成17年9月議会にて議案提案されました

16名から5人削減する改正案が賛成13名、反対2名で可決されました。市町村合併にあたり「自立の道を選択した町として、議会も痛みを伴い、地方分権に対応した積極的な改革が必要」とする一方、「5人削減とする根拠が不明確、民意が吸い上げられていない」などの討論がなされた背景があります。それにより平成19年4月の町議会議員選挙から、定数11名となりました。

文責 牛山基樹

平成17年9月議会
ふじみ議会だより(平成17年11月94号)



9月スタート!

議会録画配信が始まります!

6月定例会に予算提示され、承認されました。定例会は、議員一般質問2日及び議会最終日1日の3日を4回、そして臨時議会も都度配信します。録画配信は、録画した映像をYouTubeによって配信するもので、機材の持ち込み・録画・編集・配信まで全て業者に委託して行います。議会の録画配信の要望は以前からありましたが、コロナ下の中、議会傍聴もままならない、という状況が後押しし、実現しました。

但し、インターネット環境がないと視聴することができませんので、今後もさらに開かれた議会を目指し、検討を続けて行きます。

三井 新成 議員

町内工業者の施設移転
新築に理解を

▶ 企業移転・企業集積に、ご理解と
応援をお願いします



令和4年3月議会において、富士見町工業振興条例の一部を改正する条例が改正されました。指定区域が設定され、補助対象として整地費・伐採費・伐根費・地盤改良費・土盛費・土留費及び排水設備となります。また、町内工業者が町内に工場棟を新規設置するための指定基準、補助率及び限度額が改正されました。長年町内の製造業を支え、雇用の場を提供し、町の経済発展に貢献され、さらなる地域への貢献のための工場設置となります。町民の皆様のご理解、ご支援をよろしくお願いいたします。

織田 昭雄 議員

橋梁長寿命化修繕計画について

▶ 町内の道路橋梁は 181 橋で
107 橋は高齢化



今回提出された議案に立沢大橋の補修工事費1億890万円の工事請負契約の議案が上程されました。町内の181橋はあと8年すれば107橋が高齢化橋梁となります。その他の公共施設建物や道路、上下水道などのインフラの維持管理、更新などの費用はこれから40年間で約920億円、年平均23億円が必要です。町の一年間の一般会計予算が75億円から83億円の予算規模の現状と人口減少が進む中ではもっと町民の皆さんの理解を頂かなければ公共施設等総合管理計画は成し遂げられません。

五味 仙一 議員

諏訪湖のワカサギに大異変

▶ 漁獲量一昨年は5トン、
昨年は何と、230kg



42年前高校3年の冬、就職組の私たちの使命は、諏訪湖の穴釣りワカサギを沢山釣り保健室に持ち帰ることでした。調理は保健の先生にお願いし、料理は天ぷらの一択、味付けは当然塩のみでしたが同級生や先生方からは大好評をいただきました。(当時の漁獲量は425トン/年)流域下水道等が整備され、工業系や生活系排水の湖内水質環境影響が改善されれば諏訪湖は甦ると思っていたのですが残念です。町は宮川源流に位置することを踏まえ、早く調査、研究が成され、漁獲量も甦ることを待望します。

牛山 基樹 議員

持続可能な農業を考える
必要あり

▶ 物価高騰。
肥料・畜産飼料の多様性も視野に



不安定な世界情勢や急激な円安は、農業分野にも大きな影響を与えています。肥料資源のリン、カリウムはほぼ100%、畜産飼料の75%を海外依存しており値上げが止まりません。今後世界人口の急増によって「食」を取り巻く環境は激変していきます。そして温暖化の影響がこれからは強く出てきます。コストを掛けず環境を考えた農業への備えが大切になってきます。地域内で未利用資源を活用し有機農地を増やしていくことや、高い生産性への取組、地産地消など、地域循環と環境保全型農業が大切になります。

五味 平一 議員

公共施設等管理計画
40年間の大事業

▶ 町民全体で議論・検討し、現実味ある
街づくり



町の人口減少や少子高齢化が急速に進み、財政面に於いても今後税収の伸び悩みが想定される。町の公共施設は既存設備全体の63%が築30年以上。そして建物総床面積の多くは学校教育施設30.1%、行政施設18.5%、観光施設等14.4%で施設全体の63%を占めている。インフラ施設も老朽化が進み安全面で多くの課題が残る。既に計画に沿った事業も進められつつあるが、町を取り巻く環境の変化を常に確認しながら、「費用対効果」「新しく造ることから賢く使う」を町の政策理念に据え、町民にご理解を頂く街づくりが望まれる。

議員は町民の声をどのように活かすのか

島 正孝 議員

再び問う！
太陽光発電設備の有用性は

▶ 自然破壊の元凶・将来に重い負担



この富士見高原に住む者の誰一人として、積極的に大型・小型を含む太陽光発電設備の設置を望む人は居ないでしょう。何故なら、この高原の美しい景観を破壊し、将来のその設備の処分に公害の危険性が潜み、それを処理するには背負いきれない多額の費用が必要であるからです。これから、この美しい美しい高原の自然の中で住みたい、暮らしたいと考えている人の視野の中には、太陽光発電設備は思い浮かんでこないでしょう。今こそ勇気をもって反対の声を挙げなければなりません。

名取 武一 議員

6月議会の成果

▶ 3月議会で提案した農業支援、
6月議会補正予算に



6月議会には入院と重なり出席することができませんでした。私は3月議会で米作農家、花卉栽培業者、畜産農家の厳しい状況を説明して、農業支援を提案しました。3月議会では前向きな答弁を得ることができませんでしたが、6月議会の補正予算に園芸用燃料高騰対策、畜産用飼料高騰対策が盛り込まれました。詳しくは産業課営農推進係に。

小倉 裕子 議員

本来あるべき少子化対策とは

▶ 混沌とした社会の中で生きる子
どもたち



少子化が騒がれて久しいが、子どもにまつわる痛ましい事件が起きないような政治がまずは必要だろう。ウイルス感染が世界を席巻し、経済状況が深刻になる中、追い打ちをかけるような他国への侵攻事案の勃発。そしてそれによるさらなる経済への影響からかかる格差社会への拍車。絶望する大人たちの刃は弱い立場にいる子どもたちへと向かう。生まれてきた時から持っている、幸せになる権利、可愛がられる権利は無くならないはず。社会全体で子どもたちを育てる、という確固たる意志と政策が必要である。

川合 弘人 議員

民主国家だからこそ議会の
役割

▶ ロシアのウクライナ侵攻から学ぶこと



私は富士見ロータリークラブの会員でもあるので、今定例会一般質問の冒頭、ウクライナ国内ではロシアのクリミア併合後、ロータリークラブが増え、会員数も増えていることに言及しました。一方で、ロシアにロータリーはありません。奉仕活動は民主国家だからこそ広がり、自由で関連な活動ができるのだと思います。議員活動も同じで、行政に対して自由に発言ができる場が議会です。世界的には民主国家は減少傾向ですが、議会の大切さを改めて感じます。

矢島 尚 議員

地域運営支援事業（新規事業）

▶ 規模の小さい区を町が助けます



昨年9月議会定例会一般質問「河川内外の環境整備と今後の対応について」要旨④の中で「地域の高齢化により雑木や草刈りなどの作業が負担になっている現状に対し今後の対応は」と質問しました。町長は「地域の皆様との協働作業など取組みができるような対応を検討する」と答弁。現在、対象地域の区長さんに課題(困り事)を確認中。町が協力して出来る事を横断的に調整し、今年度から進める新規支援事業です。

詳細についてはお近くの議員にお尋ねください

総務経済常任委員会

議案審査抜粋

社会文教常任委員会

議案第11号 令和4年度 富士見町一般会計補正予算(第2号)

1 款 歳入費

傍聴に来なくても議会を見たいという町民要望に応えるため、また、コロナ感染症予防対策の一つとして議会の映像配信を行うもの、計130.5万円を見込む。今回の映像配信業務は、機材準備・録画・編集・配信までを業者に委託するため、多額の設備投資が必要となる。ライブ配信ではなく、編集後の映像を、YouTubeを利用して配信するもの。定例会として一般質問2日、確定議1日の3日間を3定例会分及び臨時会6回分を計画している。●賛成討論/「もっとよく見え、わかりやすく」議会基本条例に沿って、コロナの中での新しい形として、ぜひ進めていただきたい。●採決/賛成多数で、原案どおり、可決すべきものと決した。

6 款 原油価格高騰対策施設園芸支援事業

農業用ハウスで使用したハウスの灯油の価格上昇分について支援する。R2とR3の月別上昇額の平均24円/ℓの1/2を補助する。個人農家113件、農業法人13社、計2,385万円を見込む。●採決/賛成多数で採択し、意見書を送付すべきものと決した。

いずれの議案も原案通り承認、または可決すべきものと決した。

議案第6号 「国民健康保険条例の一部を改正する条例」

質疑では、「将来的な懸念」について質し、「今後、応益割の引き上げが必要となるときは、低所得の方にも負担がかかるかもしれないが、軽減の制度もある」と回答。

議案第8号 「富士見中学校大規模改修工事(校内照明器具LED化)の工事請負契約の締結について」

質疑では、「LED照明のメリット」を質し、「消費電力が少なくなり、長寿命化。体育館は水銀灯の生産が終わっているため交換が必要がある」と回答。

議案第10号 「財産の取得について」

消防団第1分団の消防ポンプ自動車を更新する。質疑では、「他市町村の更新は20年が多い。技術進歩を勘案すると長すぎではないか」と質し、「以前は20年更新。点検や車検をしっかり行い、納品業者が機械点検を行っているため、25年に延ばした」と回答。

町内の酪農家は11農家、約800頭を見込む。●質疑/飼料高騰は長引く可能性がある、持続可能な自給飼料の確保はできないか?の質問に対し、現状、酪農家は、輸入飼料1/2、自給飼料1/2であり、健全な飼育のためには輸入飼料も必要。自給飼料の比率を高めたいとの要望があれば、農業委員会と連携し牧草農地を斡旋したいと回答。

●採決 賛成多数で、原案どおり、可決すべきものと決した。

陳情第4-6号 諏訪湖生態系回復を強力に推進することを求める陳情書

●陳情内容 現在、諏訪湖ではワカサギやエビなどの漁獲量が激減し、上川など河川におけるワカサギの遡上も激減し採卵事業に大きな影響も出ている。今、諏訪湖魚介類の復活を図らなければ、生態系は壊滅的な打撃を受け、漁業の存続はもとより自然や観光での利用にも大きな影響が生じてしまうことから、諏訪広域6市町村の共通課題として認識し、連携協力して実態調査や激減の原因究明を実施し、早急に対策が講じられることを願う陳情。

●賛成討論 原因がわからなければ対策も打ちようがないため強力に推進すべき。採卵ができないなど深刻な問題であり、原因を調査し早急に手立てをすべき。

●採決 賛成多数で採択し、意見書を送付すべきものと決した。

議案第3号 「令和3年度一般会計補正予算(第17号)の専決処分について」

【住民福祉課】認知症グループホームやまゆりの補助事業が不採択となったため、事業費773万円を減額。質疑では「不採択で、他に考えていることは」と質し、「4月に再度交付申請。昨年度は福祉避難所との協定が条件としてあったため、今回協定を結んだ」と回答。

【生涯学習課】質疑では、海外派遣の委託料600万円のメニューについて質し、「旅行会社へ委託する空港までのバスの費用、有料道路代、駐車場代、保険料、航空代等が挙げられる」と回答。キャンセル料は、「発生しなかった」と回答。

議案第11号 「令和4年度一般会計補正予算(第2号)」

【生涯学習課】遺跡発掘調査報告書作成は、石器や土器の製図を行うため、実測する測量機器を更新する。質疑では「高性能な機器はあるのか」と質し、「石器が撮れ、大きな土器が撮れる機器が必要だ」と回答。「3Dに図化できる機器は検討しなかったのか」との質疑では、「市町村レベルでの普及にはまだ至っていない」と回答。



第523回 6月定例会の採決結果(全会一致の議案)

Table with columns: 議案名等, 議員, 採決結果. Lists various council resolutions and their outcomes, including budget amendments and requests for action.

議員の視点

1 議案第4号令和4年度 富士見町一般会計補正予算(第2号)の専決処分

国がコロナ長期化で生活苦に陥った住民に非課税の低所得子育て世帯に対して子供一人5万円の特別給付交付金を支給する新型「コロナウィルス感染症支援」フレイシット強化交付金。子ども150人分の給付金と事務経費を合わせて908.4万円が国より交付され対象者には6月中旬から7月上旬にかけて支給するための先決処分。 文責 織田昭雄

2 富士見中学校 教育環境充実

現在、富士見中学校の大規模改修工事が進んでいます。内部設備及び付帯設備長寿命化に8140万円、校内照明器具LED化に7645万円の町費が投じられています。 文責 島正孝

3 立沢大橋補修工事

平成30年に法定点検が実施され、舗装の一部について、下部の防水工事および路盤の裏側の石灰成分のツララ状の固着物の撤去と表面舗装を行う工事です。一般競争入札により契約金額1億980万円にて諏訪市の藤森土木建設会社と工事契約されました。工期は令和5年2月24日、財源は全額国庫補助金が充当されます。 文責 三井新成

町の考えを問う

一般質問要旨

6月定例会の一般質問は、6月6日、7日の両日行われました。8人の議員が登壇し、町と町教育委員会の考えを質しました。質問時間は、各議員に質問と行政側答弁を合わせて1時間割り当て、町側に通告した全項目を行います。質問順に、各議員の主な質問項目と、その答弁要旨を掲載します。



質問順

1 **牛山 基樹** 議員
議席 5

- 「八ヶ岳西麓の豊かな自然環境と共生する未来に向けた共同宣言」の具体化に向けて、富士見町としての施策設計について
- 富士見町商業環境調査 最終報告書を受けて、今後の進行について

2 **小倉 裕子** 議員
議席 4

- ヤングケアラーへのサポート体制について
- ゆめ広場の管理について
- 平和教育について

3 **川合 弘人** 議員
議席 1

- 「世界に展かれた高原の文化都市」が意味するところは
- 「中学校橋」の老朽化に伴う、インフラ整備の方向性は
- 町道の維持管理について
- 伸び放題の雑草、このままでいいのか

4 **矢島 尚** 議員
議席 3

- 前年度の事業展開について
- 移住者の状況について

5 **島 正孝** 議員
議席 6

- 太陽光発電施設申請者への対応について
- 今年度、小・中学校で教科学習以外で積極的に取り組んでいる課題は
- 町内には特殊な技術能力、高度な資格等を有する人が沢山住んでいるマンパワーの積極的な活用は
- 分水の森の積極的活用について

6 **三井 新成** 議員
議席 7

- 国土強靱化地域計画について（有事の事態対応を追加すべきでは）
- 町民の平均所得を向上させる政策について

7 **五味 平一** 議員
議席 2

- 富士見町公共施設等総合管理計画の推進状況等また、今後の計画及び進め方について
- 富士見町公共施設等総合管理計画に基づく小中学校のあり方について
- 中学校エアコン設置の評価、小学校3校・役場庁舎1階へのエアコンの設置について

8 **織田 昭雄** 議員
議席 9

- 新しい公共告知放送システムについて
- 園児から高校生までを視野に入れた通学路の安全対策について

■ 質問順は、議会運営委員会の中で、委員によるくじ引きで決めています。
■ 一般質問の要旨は、各議員がそれぞれ自分のページを責任編集しています。

12月発表の八ヶ岳西麓共同宣言の進展は？

答弁 分科会を作ってこれから始めていく

うしやま もとさ
牛山 基樹 議員



- Q 責任とスピード感を持って3市町村連携はとれているのか。
- A 総務課企画統計係が窓口となり、各分野の連携を進めたい。
- Q 行政のSDGs経営、温暖化防止に対する職員の意識は充分か。
- A 職員には常にSDGs、脱炭素を考えて日々の業務に向き合うように指示している。今後、各種計画に反映させていく。
- Q 太陽光改正条例で全町を「抑制区域」としたことで、個人の土地活用を縛ることになる。様々な事情で今後荒廃する農地や山林の保全にどう対応していくのか。
- A 原則所有者が管理する責務はあるが、農地や山林については町民と連携し、国や町の制度も活用していく方針である。
- Q 国・県は基準を示し「促進区域」を決めて推進しようとしているが、どう解釈するのか。
- A 改正後の太陽光条例に沿って理解が得られる太陽光発電施設については、設置出来ると考えている。

Q 平成16年から27年まで行ってきた太陽光発電設置補助の実績は。

A のべ375件、6059万8000円、総ワット数167万4110kWh/年の発電に補助した。

Q 県から信州健康ゼロエネ住宅の補助が新築住宅150万円補助されるが、広い普及のために町民に情報が行き届いていないのではないかと？ 既存住宅の冷暖房に掛かるエネルギー消費を減らす「断熱改修」への補助は？

A 重要なことを認識している。県の補助も研究しPRと施策に繋げる。

Q 農業が環境に与えている影響は大きい。3市町村で取り組む意義があるのではないかと。

A 「みどりの食糧システム」にむけて、共同で行う一番の着目点と考え提案していきたい。



2030年までの1.5℃が将来を決めてまいります

長野県提供

ヤングケアラーへのサポート体制について

答弁 学校対応が主。個別調査は実施していない

おぐら ゆうこ
小倉 裕子 議員



- Q ヤングケアラーの問題は、高齢者福祉・ひとり親世帯への支援等様々な課題から派生している。また、世帯収入の格差が教育の格差につながるかという前回の質問にもつながっているが。
- A 子どもひとり一人の状況を見ながら適切に対応して行きたい。
- Q 対象の子どもを専門機関につないだりと思うが、その際にどのようなことを心がけているか。
- A ケース会議等を経て専門機関につなげることもあるが、その子どもの様子やその後について常に把握するようにしている。

Q (上記回答への要望) それなりの費用が発生しているのであれば、その費用を生かす管理の仕方が必要と思われる。今後検討して行かれるよう要望する。

■平和教育について

Q 現代は、世界の色々な情報が子どもたちの耳に否応なく入ってくる。平和教育は、一つ間違えると戦争の悲惨さを伝えるだけになってしまう。正しい情報を伝えて行くことが重要だと思うが。

A 教育指導要領に基づいて、児童生徒の発達に応じた学習を行っている。

■ゆめひろばの管理について

- Q 年代を問わず多くの町民が利用しているが、砂場のケアや遊具・多目的スペースの管理等はどのように行っているか。多くの予算をかけて作り、多くの町民活動が行われる「ゆめひろば」は、効率の良い管理の仕方を検討しながら管理者を置くべきではないか。
- A 現在、町職員と委託業者で管理を行っている。



町民でにぎわう「ゆめひろば富士見」

「中学校橋」の新橋架け替えは可能か

答弁 課題は財政的な問題。車道も案としてある

かわい ひると
川合 弘人 議員



- Q 中学校橋の車道通行止め後、一日の利用者数の調査結果は。
- A 8月27日は462人、自転車・バイク46人。
- Q 住民の利便性を考慮し、新橋建設の検討は可能か。
- A 方針は変更していない。基本設計をJRに委託した。結果報告を受け、今後の対応を検討する。
- Q 車道の建設を求める声が住民から上がっている。どのように考えるか。
- A 橋の規模、費用を総合的に検討し、判断する。住民の皆さんの声に応えたいが、最大の課題が財政的な問題だ。車道も一つの案としてある。
- Q 町道の穴に車両が落ちて破損する損害賠償が相次いだ。対策は。
- A 昨年度、車両破損による損害賠償は9件。うち7件で示談が成立。対策として路面舗装修繕工事を行っていく。
- Q 区長から道路破損の報告をもらえるよう要請しては。
- A 区長から通知をいただけるように通知したい。

- Q LINEを活用した通報システムを構築できないか。
- A 行政全般について通報できないか、庁内で検討したい。
- Q 荒地で伸び放題の雑草に対し、対策を講じられないか。
- A 所有者が高齢化した土地や、不在地主の農地は荒廃化する可能性が高い。西山地区、河路地区の小規模集落はその傾向が顕著だ。昨年度から富士見型農地維持活動モデル事業を導入。地域が行う農地保全活動を支援した。また、どのような支援が必要か聞き取りを始めた。



利用される中学校橋

移住者の状況について

答弁 地域に溶け込みたい方が多い傾向

やじまたかし
矢島 尚 議員



- Q 相談件数は大幅に向上している中、実際に移り住んだ方々の状況は。
- A 初めに町職員と所有者または管理人の立会いのもと、その物件を確認させていただき、空き家情報を公開している。希望者がその物件を気に入った場合、所有者と顔合わせをする段階まで町職員が担当している。その後、細部の相談や契約を行うところは、長野県宅地建物取引業協会諏訪支部富士見分会が行っている。相談や移住された方の多くは、リモートワークや子供の就学前などを契機に30代~40代が増えている。また移住された多くの方が住んでみて身近な相談も数多く寄せられており、組織横断的にきめ細かな対応を行っている。農業法人からの問い合わせも数社きています。また再整備整備事業用地3ヶ所目は、境地区高森ライスセンター周辺20~30畝を考えている。今後、地元区と調整を進めていく。
- Q 移住先でのコミュニケーションは図れているか。
- A 実際に移住者の中には、今回の上社御柱祭など区に溶け込み活動している方もいる。地域住民の方からは、子供の声が集落に聞こえ、区が元気になってよかったとの声も聞こえるようになった。一方で、移住者の中ではライフスタイルの多様化、年代も様々であるため区・集落組合のような地域団体の必要性を疑問

視する人や、活動に負担を感じる方もいるが、協働のまちづくりや災害時など共助を担っていただけよう区・集落組合の重要性も含め案内している。

■前年度の事業展開について

- Q 副町長不在期間、町に不利益は生じなかったか。
- A 全職員の努力で、令和3年度の町長方針に掲げた重点政策、重要事業は概ね予定通り実施できた。最重要課題として取り組んだのがコロナ対策。次に挙げたものは事業とは別の位置付けですが太陽光条例の一部改正と思っている。



町庁移転の移住定住推進

太陽光発電施設申請書受理とその後の対応は

答弁 行政事務手続きに則って対応している

しま まさゆき
島 正孝 議員



- 小・中学校で教科学習以外に積極的に取り組んでいる課題は
- Q 旧来のような学校登山の復活は考えないか。
- A 全員が登山参加というのは今後ますます難しくなっていく。どのような活動を通して郷土に触れて行くかが大切だと思っている。登山は、その選択肢の一つである。
- 町内住民でユニークな能力・技能を有している人が居るが、その活用は
- Q 社会教育の一環として積極的に活用しては。
- A 生涯学習の大切さはよく承知している。語学等では協力をいただいているが、もっと活用出来るよう考えて行きたい。

■分水の森の積極的活用について

- Q 戦後の7年間、分水荘に住み沢山の作品を発表された記念すべき場所である。もっと有効活用しては。
- A 今のところ、具体的な活用は考えていない。



ハヶ岳の赤岳から見える富士山と美しい景色

有事を踏まえた強靱化計画の見直しを

答弁 国民保護法の避難計画に準ずる

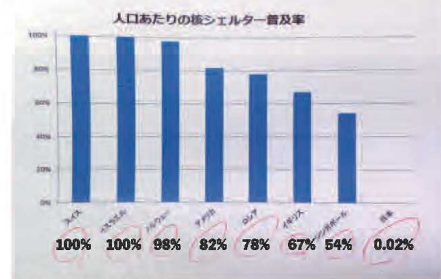
みつい しんせい
三井 新成 議員



- Q 国土強靱化計画に定められている、あらゆるリスクを見据えて、最悪の事態に陥ることが避けられるような強靱な行政機能や地域社会経済を作るとあるが、町独自の追加計画として、有事としての人的・国家的災害を入れ込むことはできないか。
- A 大規模自然災害等に備えるため、事前防災として地域の致命的被害を回避し、迅速な対応を行うための計画であり、国民保護計画を入れ込む計画ではない。核・武力攻撃については、平成30年に国民保護法に基づいて、富士見町国民保護計画を策定している。また、年1回富士見町国民保護協議会を開催し、自治体・医療関係・電力通信網の事業者・自衛隊との意見交換、計画の検証を行っている。
- Q 有事の際の対応について協議されているか。特に隣国についての対応は。
- A 情報は国・県を通してくるが、具体的なところは情報がなく話題になっていない。

Q 公共施設や、個人住宅への避難用シェルターの設置の必要性と補助対象とする考えは。

A 放射能関係や武力行使に関する対応は、今後の国の指針を見ながら対応する。核の脅威としての避難所は設けていない。耐震改修に対しての補助金は設けてあるので既存の補助金を利用していただく。



核シェルターの普及率

小学校3校・庁舎1階にエアコン設置の考えは

【答弁】 中学校稼働状況の検証・庁舎1階試験的運用後検討 こみ へいち
五味 平一 議員

Q 中学校エアコン設置の評価、小学校3校・役場庁舎1階へのエアコン設置

A 地球温暖化に伴う気温上昇高温多湿環境の中、児童や生徒への健康被害が心配される。空調設備を整備し児童、生徒たちに適切な学習環境提供を目的としている。中学校はこの夏から本格稼働、電源設備はガスを燃料としていることからインシャルコスト・ランニングコストの削減、災害停電時には非常電源として活用が可能である。
設置費用1億5949万円(内交付金は事業費の1/3)、小学校の教室は設置されていない、児童の熱中症等健康被害が無いように注意することが必要不可欠、町では中学校への先行設置により効果や課題を検証し小学校に設置の是非を検討する。

富士見町でも30度以上の真夏日が続き、来庁者の皆様にとっても職員にとっても職場の環境を快適に保つことは重要、今年度は災害時に使用可能な移動式エアコンを3台購入する予定、平常時には庁舎1階のフロアで試験的に運用し効果を検証する。



教室等の温度基準は17℃～28℃が望ましい

設置に至るまでの対策は教室が過度の高温にならないよう、扇風機の活用や網戸設置、窓の解放による空気循環を行う、こまめな水分補給、健康観察の徹底を行い、健康被害が及ばないよう対処する。3校への設置費用は約2億7300万円(現時点での交付金は事業費の1/3)である。町の公共施設等管理計画では庁舎へのエアコン設置について記載され以前から検討されている。

告知放送の将来の在り方について町の考えは

【答弁】 必要情報を必要な方に届け情報弱者をなくす あだ てるお
織田 昭雄 議員

Q 新告知放送システムの切り替え時期はいつになるか。

A 現行の告知放送の保守期限は令和8年7月となっております。現在試験運用しているLINEを使った告知放送の配信は、39集落の内7集落が本格運用に向けてテスト配信など活用を前向きに検討されています。今後登録された区や町民を対象にアンケートを実施して、今後どの様なシステムが必要か検討します。

し危ない為、ガードポールの設置と歩道が無いためグリンベルト設置の要望がある。先日諏訪建設事務所長が来庁された際にも、重ねて早期実施をお願い致しました。



Q 若者を中心に告知放送離れが進んでいるのではないか。

A 過去2年間の実績では新規設置よりも廃止台数が上回っています。このペースで進めば、来年度には4000台を切る事も予想されます。一方で今年導入したラインアプリの登録は5月末で1107名、令和3年度の廃止が増えた状況でライン配信が起因しているか未確認ですが、今後の推移を見守ります。

Q 駅前商店街から国道20号線信号の間で通学路の危険箇所の改善要望の状況は。

A 駅前商店街から国道20号信号機までの区間は、令和3年度にPTAより改善要望が出されている箇所、商店街は子供達が通学するのに車がギリギリを通過



永年の要望が実り改善された通学路

第6回

来て 出会う 聞いて 言った
よかった!

オープンミーティング 開催

今回のテーマ

01

議員報酬について

地方議会に多様な人材が参画するための次の一歩

02

公共施設統廃合について

保育園、小学校はどうしていくべきか
新設? 改修? 使用しない施設は?

03

少子化対策とFターン施策

聞かせてください「赤ちゃんが増えないワケ」教えてください「帰ってきたい町ってどんなマチ」

声

あなたの 声を

聞かせてください!

令和4年

時間 13:30 ~ 15:30 (受付開始 13時)

11月19日 土

場所 コミュニティ・プラザ2階 大会議室

予約不要 直接会場へお越しください

問合せ ☎ 0266-62-9403 FAX 0266-62-9320

E-mail gikai@town.fujimi.lg.jp

※ 新型コロナ対策をしての寛施となります。お越しの際はマスクの着用をお願いいたします。
※ 新型コロナ感染状況により、延期することもあります。

オープンミーティングとは?

オープンミーティングは町の当面の課題について、町民のみならずと議員がテーマ別に分かれて自由に意見交換ができる機会を作ろうと、2016年から始まりました。町民の皆さんと議会が共に歩む「開かれた議会」を目指して、毎年実施してきました(令和2年度、3年度はコロナにより中止)。議員はできるだけ聞き手役に徹することや、発言者はお互いの意見を否定せずに、建設的な意見を出し合うことなどを基本的なルールとしています。



みなさまのご参加を、議員一同、心よりお待ちしております。

議会だより **モニターさんの声**

総務経済常任委員会まとめ



モニターさん

高額で生活に直接跳ね返る、上下水道特別会計などについても取り上げてほしいと思います。

上下水道課より、町の水道状況、ビジョン、令和7年料金値上げ等、広報等でアナウンスしていきたい、と回答あり。

総経
委員会



モニターさん

傍聴時の質疑応答の場面も併せて読むとそれぞれの個性が現れて興味深いです。傍聴できれば一番良いのですが、時間的に傍聴できない人が大多数だと思います。京都府議会みたいに動画配信とまでは言いませんので、なんか傍聴のライブ感が伝わるような工夫が議会だよりにもあると良いなと思います。

定例会の一般質問、確定議（議案が承認、可決、採択される最終日）、臨時議会の様子を録画配信する予算が6月定例会で可決されました。次回9月定例会はYouTubeで視聴可能となりますので是非ご覧ください。

総経
委員会



モニターさん

支障木整備の促進と補助金の創設で、区有地及び私有地の支障木伐採について→区の事情をお聞きします。とあるが、私有地についても区の判断になるという事でしょうか？

建設課の回答です
「民地から出ている支障木の対応について」
集落で切りたいが連絡取れない場合は、建設課が間に入る。

総経
委員会

●所有者不明の場合は、民法が改正され、町で切れることになったため、今後対応予定。●集落で伐採したい場合は機械借上で補助していきたい。●通行の支障になり危険な場合は建設課で即対応する。●相談窓口は区 or 町か？区が対応できそうな場合は区、どうしてもなく危険な場合は町。●道路について5.5m以下に垂れ下がる場合は伐採可能。



モニターさん

FITの用語解説が必要かと思えます。

「Feed-in Tariff (フィード・イン・タリフ)」の頭文字で、日本語訳は「再生エネルギーの固定価格買取制度」のことです。

総経
委員会



モニターさん

太陽光については住民の関心が高いと思います。条例改正前の駆け込み案件がどのくらいあったのか、条例改正後、住民同意に入った案件がどのくらいあるのか、議会としても継続的に状況把握をし、議会だより等で情報提供をお願いします。これまではFIT法の申請状況のみで、ここにこんなものができそうと状況把握をしていましたが、今回の改正で、住民が今、どんな案件が動いているかは町が情報公開をしない限り、近隣住民や関係区以外は状況把握ができないこととなります。議会の役割が一層大きくなると感じました。

町内では太陽光パネル建設が増えてきてますが、現状がどうなっているのか良くわかりません。予定場所、建設中、計画中等など広い情報公開があると助かります。国道沿いのフェンスの脇から太陽光パネルが見えますが、どんな状況なのかよくわかりません。



モニターさん

新しく改正された富士見町太陽光条例が公布されてから施行されるまでの申請数は11件（内1件は不許可）施行後の申請数は0件です。
※5月20日現在

総経
委員会



モニターさん

町に住所があり、結婚後、町外のアパートで生活した夫婦が、町に新居を構える場合にも、定住目的の補助金申請をし、受給できた事例を聞きました。Uターンでもなく、転出した訳でもないのに移住者と同様の補助金が受給できるのでしょうか？そのような補助金があるのでしょうか？審査が厳しいのでしょうか？

富士見町における住宅新築に関する補助金の要綱です。

- ・富士見町移住・定住促進対策新築住宅補助金
- ・平成29年から令和5年3月31日
- ・「富士見町移住・定住促進対策新築住宅補助金」とし100万円 ※補助対象者が消防団員等に該当する者11万9千円を加算
- 居住誘導区域内に新築または新築住宅を購入した者5万円を加算
- 【補助対象者の条件（すべてに該当）】
- ・町内に自らが移住・定住する目的で住宅を新築、または新築住宅を購入した者
- ・申請時に町内に住所を有しているもの（外国人含む）
- ・町税等の滞納がない者
- ・申請時に、満45歳未満の者
- ※共有の場合は持分2分の1以上の者
- ・都市計画富士見町公共下水道または農村集落排水に接続して新築した者。かつ、区・集落組合に加入した者

【補助対象住宅の条件】
・町内に本店、営業所等を有する業者が新築に係る全部または一部工事（50万円以上）を施工した住宅

総経
委員会

社会文教常任委員会まとめ



モニターさん

少子化対策で出産祝い金があるが、教育費に對しても支援策が必要ではないか。

子育ての時期は教育費への出費がかさみ、家計への負担は大きい。議会としてもどんな支援策が可能かを検討し、町に提案したい。

社文
委員会



モニターさん

行政職員によるミスで誤送金や、過剰あるいは仮称徴収などの事故が全国的に多発している。チェック対策を何重にもして間違いのないよう町当局に働き掛けてほしい。

社文
委員会



モニターさん

町内でも起こり得る事例です。ご指摘を参考にし、議会はチェック機能として、しっかりと対応したいと考えます。

本郷保育園の入園希望者が多く、定員を超えたため、保育園を変更せざるを得ない事例があるようだ。今後の対策はあるか。

社文
委員会



モニターさん

子ども課に確認しました。季節的に定員を上回ることもあるそうです。特に未満児の入園が増えていますが。定員を上回った場合は移動をお願いしていて、第一希望、第二希望を聞いて対応しているということでした。

社文
委員会

敬老祝品の支給で、風呂の券を利用しない方も多いと聞く。商品券にしてはどうか。

町内の温泉施設を利用している方は、券を有効活用し、「助かる」と聞いています。ほかにもどのような祝品が可能なかは、今後の検討課題とし、皆さんの声を聞いて提案したいと思います。

社文
委員会

みなさんのお声を聴かせてください。

※切り取り線

<切り取り線>

上部のハガキを切り取り、みなさんのお声を聴かせてください。コロナ禍にあって議会では町民の皆さんとの交流が減っています。どんなことでも結構ですので気になることをお知らせください。議会では町民の皆さんと共に歩み開かれた議会を目指します。

富士見町議会だよりは議会ホームページでもご覧いただけます

<https://www.town.fujimi.lg.jp/site/gikai>

VOICE 動画配信スタート!!

皆さんこんにちは。議長の名取久仁春です。今6月定例会では議会にとって重要な予算が可決されました。それは本会議の配信です。現状ではなかなか傍聴に来ていただけませんが、録画ではありますが、議員と行政の皆さんのやりとりが映像で確認いただけます。今後とも町民の皆様のご意見をお寄せいただけますよう宜しくお願い致します。

富士見町議会 名取久仁春 議長



POST SCRIPT 編集後記

今、地上では戦争が、そして身近にはコロナ禍の恐怖との戦いで、苦しく辛い日常が続いています。そのような状況の中にあっても富士見町は、近隣市町村に比べ人口減少対策、移住促進の取組等諸々の課題解決に積極的であり、徐々にではありますが、その取り組みの効果も見られるようになってきました。これからも議会と行政が一致団結、協力し合い、諸々の課題に積極的に取り組んで参ります。ご期待ください。

文責者 島正孝

